

エコアクション 21

環境活動レポート

対象活動期間

2022年4月1日～2023年3月31日



2023年7月31日

株式会社 トキワ設備

目 次

	ページ
1. 組織の概要、認証・登録の対象範囲	1～2
2. 環境方針	3
3. 実施体制図	4
4. 環境目標	5
5. 環境活動計画	6
6. 環境目標の実績・達成状況	7
7. 環境活動計画の取組内容及び結果と評価 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	8～12
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無	13
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	14



本社工屋

1. 組織の概要、認証・登録の対象範囲

1-1. 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

株式会社 トキワ設備 代表取締役 川浪 弘之

2. 所在地

本 社 〒811-1102

福岡市早良区東入部 1 丁目 2 番 4 7 号 - 2 0 1

春日営業所 〒816-0854

春日市下白水北7丁目35番

事業所名	所在地	敷地面積
今津 資材置場	福岡市西区今津2025番31他2筆	1,500㎡
羽根戸 資材置場	福岡市西区大字羽根戸860	1,800㎡
四箇 資材置場	福岡市早良区四箇5-5	2,115 ㎡
東入部 資材置場	福岡市早良区東入部1-5	1,600 ㎡

3. 環境管理担当

環境管理責任者 河田 昌格

TEL 092-872-3200 FAX 092-872-3201

4. 事業内容

管工事業 土木工事業 水道施設工事業

とび・土工工事業 舗装工事業 産業廃棄物収集運搬業

特定建設業 福岡県知事 許可（特-26）第20185号

産業廃棄物収集運搬業		
	福岡県	福岡市
許可番号	04000014359号	07710014359号
許可年月日	2022年9月10日	2019年2月10日
有効期限	2027年9月9日	2024年2月9日
許可品目	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等（以上3品目については、自動車等破砕物を除く）、汚泥、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類（以上、石綿含有産業廃棄物を含む）	廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず等（以上3品目については、自動車等破砕物を除く）、汚泥、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類（以上、石綿含有産業廃棄物を含む）
積替え保管施設の面積/保管上限量	—	25.0㎡
	—	がれき類 8.0㎡

5. 事業規模

設 立 : 1969年11月30日
資 本 金 : 40,000千円
売 上 高 : 1,308百万円 (2022年度)
工 事 件 数 : 152件 (2022年4月～2023年3月)
運搬用車両の種類と台数 : 4 t ダンプ2台、3 t ダンプ5台
3.5 t ダンプ1台、キャブオーバー4台
収集運搬実績 : 508 t (2022年4月～2023年3月)
従 業 員 : 34人
延べ床面積 : 本社 454㎡

6. 事業年度

4月～翌年3月

1-2. 認証・登録の対象範囲

1. 事業活動

配水管布設工事・給排水設備工事・空調設備工事・衛生設備工事

2. 対象事業所

本 社 / 今津資材置場 / 羽根戸資材置場
春日営業所 / 四箇資材置場 / 東入部資材置場

株式会社 トキワ設備 環境方針

企業理念

株式会社トキワ設備は、建設業を通して人や社会、地球環境との調和を図りつつ取引先、従業員とその家族が幸福で共存、共栄できる企業を目指します。

環境方針

当社は、福岡市をはじめとする県内外での上水道工事業・住宅設備業の事業活動を展開する中で、「企業理念」を達成するために、社員一人ひとりがコンプライアンスと環境に対するモチベーションを高め、実効性のある環境活動に全社一丸となって、エコアクション21を積極的に推進します。

1. 環境関連法規を順守します。
2. 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして継続的な改善に取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 電気使用量の削減
 - (3) 燃料使用量の削減
 - (4) 廃棄物リサイクル率の推進
 - (5) 水使用量の削減
 - (6) グリーン購入の推進
 - (7) 事業活動における環境配慮の推進
 - (8) 地域貢献活動の推進
3. 地球温暖化の緩和、快適な環境づくりに貢献します。



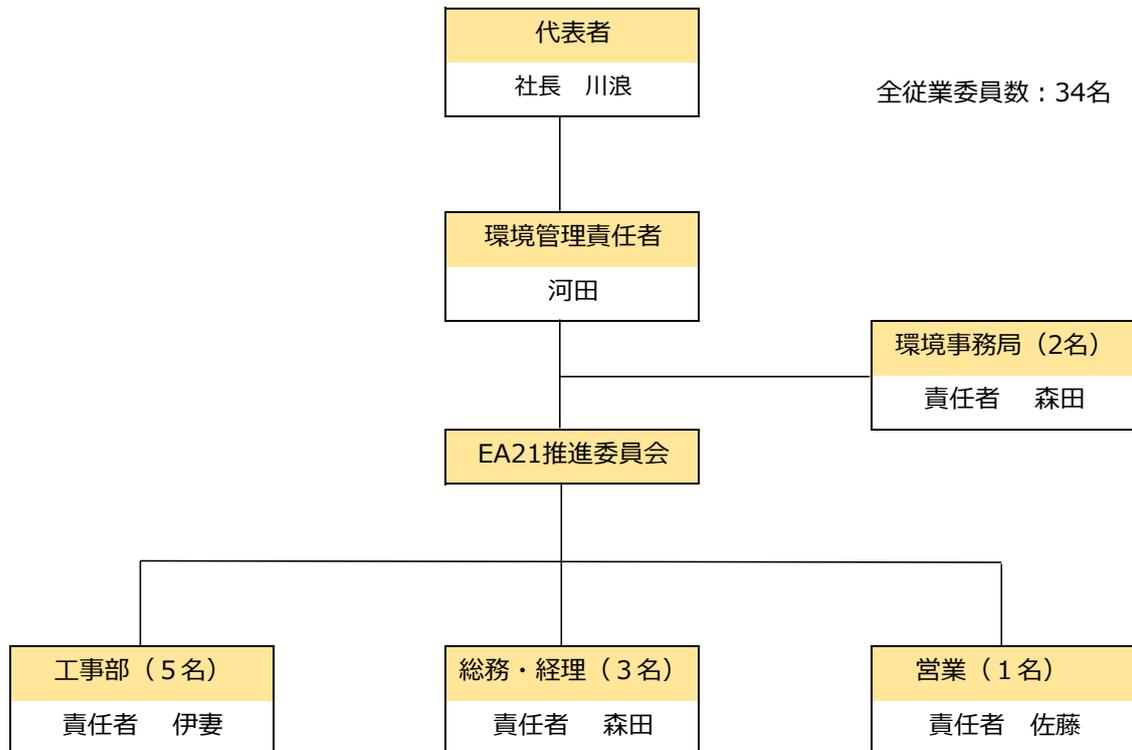
制定日 : 2015年9月1日

改訂日 : 2022年4月1日

株式会社 トキワ設備

代表取締役 川浪 弘之

3. 実施体制図



環境経営システム 役割・責任・権限表

所 属	役 割・責 任・権 限
代表者(代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する責任と権限を持つ。 ・環境管理責任者を任命する。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知する。 ・エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する。 ・環境目標・環境活動計画書・環境活動レポートを承認する。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理をする。 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認する。 ・毎年環境目標・環境活動計画書を作成する。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ・環境活動レポートの確認する。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口として情報の収集と伝達を行う。
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回開催し、環境目標及び環境活動計画の実施状況を確認する。
工事部責任者 総務・経理責任者 営業部責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する。 ・建設工事における環境活動を推進する。 ・自部門に関連する法規制等を順守する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

4. 環境目標

環境目標	サイト	単位	基準年	目 標 値				
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
			2020年4月～ 2021年3月	2021年4月～ 2022年3月	2022年4月～ 2023年4月	2023年4月～ 2024年5月	2024年4月～ 2025年6月	
1	二酸化炭素排出量の削減	事務所/現場	kg-CO ₂	166,939	165,270 (1%削減)	163,600 (2%削減)	161,931 (3%削減)	160,261 (4%削減)
	① 電気使用量の削減	事務所	kWh	13,090	12,959 (1%削減)	12,828 (2%削減)	12,697 (3%削減)	12,566 (4%削減)
	② ガソリン使用量の削減	事務所	ℓ	15,213	15,061 (1%削減)	14,909 (2%削減)	14,757 (3%削減)	14,604 (4%削減)
	③ 軽油使用量の削減	現場	ℓ	49,143	48,652 (1%削減)	48,160 (2%削減)	47,669 (3%削減)	47,177 (4%削減)
2	①一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	1.80	1.78 (1%削減)	1.76 (2%削減)	1.74 (3%削減)	1.73 (4%削減)
	②産業廃棄物リサイクルの推進	現場	%	90%	90%	90%	90%	90%
3	水使用量の削減	事務所	m ³	466	461 (1%削減)	457 (2%削減)	452 (3%削減)	447 (4%削減)
4	グリーン購入の推進	事務所	%	70	71	72	72	72
5	事業活動における環境配慮の推進	現場	%	100	100	100	100	100
6	地域貢献活動の推進	事務所	回数	毎月1回清掃実施				

※ 購入電力のCO₂二酸化炭素排出係数は九州電力、2014年度の**実排出係数=0.584kg-CO₂/kWh**で算出する。

※ 本年度は2020年度実績値を基準年度値として採用している。

元請やグループ会社から受託した建設副産物の収集運搬のみで、中間処理や最終処分は行っていない。

※ グリーン購入のパーセントは全事務用品との購入比率とする。

5. 環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

- 1.事務所内の不在時及び休憩時の消灯徹底
- 2.エアコンの温度設定厳守（夏季28度、冬季22度）
- 3.エアコンの終業時間10分前の電源OFFの徹底
- 4.外出時に於ける、パソコン・プリンター等の電源OFFの徹底

(2) ガソリン／軽油使用量の削減

- 1.工事車両及び営業車両のタイヤ空気圧の管理
- 2.急発進・急加速・空ぶかしの禁止
- 3.不使用時のエンジン停止（アイドリングストップ）
- 4.車両装備エアコンの温度設定の適正化（控えめにする）
- 5.重機等の定期点検の実施
- 6.トラックの過積載の禁止
- 7.リース機器等に於ける低燃費機種を選定
- 8.現場毎の荷物の積み替え(不要な道具の排除)

2. 産業廃棄物排出量のリサイクルの推進

- 1.産廃物の分別徹底
- 2.適切なリサイクル業者の選定
- 3.廃棄物の再資源・再利用の促進

3. 水使用量の削減

- 1.食器洗い時の効率化、洗剤使用量の削減
- 2.蛇口のごまめな閉栓、ため水の使用
- 3.社用車の洗車時に於ける節水の意識付け
- 4.水道メーター内設置の止水栓を絞り吐出量を抑える

4. グリーン購入の推進

- 1.地球環境に配慮し、環境負荷の低減に努める事業者及び商品を優先して購入する
- 2.エコマーク商品の購入にも積極的に取り組む（5点以上）

5. 事業活動における環境配慮の推進

- 1.事業所での、電気、ガソリン、軽油使用量の削減をはじめ省エネルギー・省資源等の地球温暖化対策に取り組む旨の「エコ事業所宣言」をして環境に配慮した事業所をめざす
- 2.現場において、超低騒音型・オフロード法基準適合車の使用に努める
- 3.再生材使用の推進

6. 地域貢献活動の推進

- 1.工事期間中、現場周辺の清掃を定期的実施する
- 2.事務所周辺の定期的な清掃を実施する
- 3.防火管理の徹底
- 4.飲酒運転撲滅の宣言、実施をする
- 5.積極的な障害者雇用を心掛ける
- 6.新規学卒者の積極的な雇用に努める

6. 環境目標の実績・達成状況

6. 環境目標の実績・達成状況

環境目標		単 位	基準年度 2020年度 <small>2020・4月～2021・3月</small>	目 標 2022年度 <small>2022・4月～2023・3月</small>	実 績 2022年度 <small>2022・4月～2023・3月</small>	判 定
1	二酸化炭素排出量の削減 (事務所・現場)	kg-CO ₂	166,939	163,600 (2%削減)	170,073 (1.9%増)	×
	電気使用量の削減 (事務所)	kWh	13,090	12,828 (2%削減)	14,653 (11.9%増)	×
	ガソリン使用量の削減 (事務所)	ℓ	15,213	14,909 (2%削減)	16,856 (10.8%増)	×
	軽油使用量の削減 (現 場)	ℓ	49,143	48,160 (2%削減)	48,655 (1.0%削減)	×
2	一般廃棄物排出量 の削減	t	1.80	1.76 (2%削減)	1.77 (1.5%削減)	×
	産業廃棄物 リサイクルの推進	%	90%	90%	90%	○
3	水使用量の削減 (事務所)	m ³	466	457 (2%削減)	521 (11.8%増)	×
4	事業活動における 環境配慮の推進 (事務所)	%	70	72%	72%	○
5	事業活動における 環境配慮の推進	%	100	100	100	○
6	地域貢献活動 (事務所・現場)	回	1回/月	1回/月	1回/月	○

7-1. 環境活動計画の取組内容及び結果と評価 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1.-① 二酸化炭素排出量の削減

取組活動	実施状況	評価・次年度の取組内容
1.事務所内の不在時及び休憩時の消灯徹底	○	未使用部屋、昼休みの消灯を欠かさず実行した。次年度も同様の取り組みを継続する。
2.エアコンの温度設定厳守（夏季28度、冬季22度）	○	日々徹底できた。エアコン送風口にファンの取付、サーキュレーターも導入し、冷暖房使用時に空気を循環させ熱効率のUPを図ることもできた。次年度も同様の取り組みを継続する。
3.エアコンの終業時間10分前の電源OFFの徹底	○	日々徹底できた。次年度も同様の取り組みを継続する。
4.外出時に於ける、パソコン・プリンター等の電源OFFの徹底	○	何れも実行、消し忘れについても気付いた者が電源OFFを実行した。次年度も同様の取り組みを継続する。

電
気
使
用
量
の
削
減



サーキュレーター使用で空気循環



7-2. 環境活動計画に基づき実施した取組内容 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1.-②③ 二酸化炭素排出量の削減

	取組活動	実施状況	評価・次年度の取組内容
ガソリン / 軽油使用量の削減	1.工事車両及び営業車両のタイヤ空気圧の管理	○	乗車前の安全点検を実施している。 次年度も同様の取り組みを継続する。
	2.急発進・急加速・空ぶかしの禁止	○	実施している。次年度も同様の取り組みを継続する。
	3.不使用時のエンジン停止（アイドリングストップ）	○	実施している。次年度も同様の取り組みを継続する。
	4.車両装備エアコンの温度設定の適正化（控えめにする）	○	実施している。次年度も同様の取り組みを継続する。
	5.重機等の定期点検の実施	○	乗車前の安全点検を実施している。 次年度も同様の取り組みを継続する。
	6.トラックの過積載の禁止	○	実施している。次年度も同様の取り組みを継続する。
	7.リース機器等に於ける低燃費機種を選定	○	実施している。次年度も同様の取り組みを継続する。
	8.現場毎の荷物の積み替え(不要な道具の排除)	○	実施している。次年度も同様の取り組みを継続する。

2.-①② 一般廃棄物排出量の削減

	取組活動	実施状況	評価・次年度の取組内容
受託した一般産業廃棄物排出量の削減 / 維持	1.産廃物の分別徹底	○	実施している。次年度も同様の取り組みを継続する。
	2.適切なリサイクル業者の選定	○	実施している。次年度も同様の取り組みを継続する。
	3.廃棄物の再資源・再利用の促進	○	実施している。次年度も同様の取り組みを継続する。

7-3. 環境活動計画の取組内容及び結果と評価 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

3. 水使用量の削減

水使用量の削減	取組活動	実施状況	評価・次年度の取組内容
	1.食器洗い時の効率化、洗剤使用量の削減	○	まとめ洗いで使用量削減に取り組んだ。 次年度継続する。
	2.蛇口のコまめな閉栓、ため水の使用	○	こまめな閉栓を実施。 次年度も同様の取り組みを継続する。
	3.社用車の洗車時に於ける節水の意識付け	○	バケツの溜め水を極力使用し、節水につなげた。 次年度も同様の取り組みを継続する。
	4.水道メーター内設置の止水栓を絞り吐出量を抑える	○	実施できた。次年度も同様の取り組みを継続する。

4. グリーン商品の購入推進

購入推進	取組活動	実施状況	評価・次年度の取組内容
	1.地球環境に配慮し、環境負荷の低減に努める事業者及び商品を優先して購入する	○	コピー用紙からその他文房具の購入増加。 次年度も購入品目の拡大を目指し、同様の取り組みを継続する。
	2.エコマーク商品の購入にも積極的に取り組む（5点以上）	○	
			
	 		

7-4. 環境活動計画に基づき実施した取組内容 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

5. 事業活動における環境配慮の推進

事業活動における環境配慮の推進	取組活動	実施状況	評価・次年度の取組内容
進	1.事業所での、電気、ガソリン、軽油使用量の削減をはじめ省エネルギー・省資源等の地球温暖化対策に取り組む旨の「エコ事業所宣言」をして環境に配慮した事業所をめざす	○	エコ事業所宣言申請済み。 福岡市SDGs well being マスター登録企業、福岡県SDGs登録企業、に認定。 活動を推進していくことを社員全員に周知し、実施につなげた。 次年度も同様に取り組みを継続する。
	2.現場において、超低騒音型・オフロード法基準適合車の使用に努める	○	実施できた。次年度も同様の取り組みを継続する。
	3.再生材使用の推進	○	実施できた。次年度も同様の取り組みを継続する。
会社代表による説明	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>		
	<p>エコアクション21について社員全員への周知で環境配慮への意識高まる。 次年度も同様に社員全員への周知を継続する。</p>		

7-5. 環境活動計画に基づき実施した取組内容

次年度の環境経営目標及び環境経営計画

6. 地域社会貢献活動

	取組活動	実施状況	評価・次年度の取組内容
地域社会貢献活動	1.工事期間中、現場周辺の清掃を定期的に実施する。 2.事務所周辺の定期的な清掃を実施する。(毎月第4金曜日始業前実施) 3.防火管理の徹底 4.飲酒運転撲滅の宣言、実施をする 5.積極的な障害者雇用を心掛ける 6.新規学卒者の積極的な雇用に努める	○	1~4問題なく実施。事務所周辺の清掃活動に関しては、地域の方とコミュニケーションをとる機会にもなり、防犯の観点からも評価できる。5.6に関しては応募がなかったため雇用につながらなかった。 次年度も同様の取り組みを継続する
		全社員で一斉清掃を行いながら、通学中の子供たちの見守り活動を行っている	

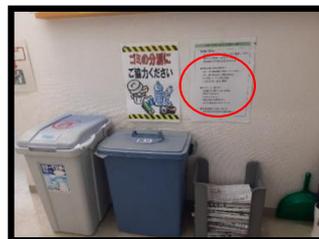
7-6 次年度の環境経営目標及び環境経営計画については現状の目標及び計画を継続します。

<エコアクション21>スローガン

- 節電に努めます
 - ・エアコンの温度設定 (冷房26~28℃/暖房21~23℃)
 - ・照明やOA機器のこまめなスイッチオフ
 - ・事務所内の不在時及び昼休みの消灯
- 資源の有効利用に努めます
 - ・コピー前の設定確認 (間違いコピーの防止)
 - ・コピー紙の裏面使用、封筒の再利用
 - ・エコ製品、グリーン文具の使用
 - ・水道の蛇口のコまめな開閉
- エコドライブに努めます
 - ・急発進・急加速・空ぶかしの禁止
 - ・早めのアクセルオフ
 - ・アイドリングストップ
 - ・不要な荷物は積まずに走行
 - ・タイヤの空気圧をこまめにチェック
- 地域貢献活動の推進に努めます
 - ・事務所周辺の定期的な清掃を実施する



事務所



給湯室



倉庫

代表者による全体評価と見直しの結果

今期は、最終結果として大項目10の目標のうち、達成が4項目、未達成が6項目となりました。未達成項目であった3つ（電気使用量の削減、ガソリン使用量の削減、水使用量の削減）は引き続き来期以降への重要課題と認識して取り組むつもりですが、これらの指標は当社の水道工事業・管工事業の性質上、受注する工事量に比例し増減することが常であります。したがって、数値の増減に一喜一憂するのではなく、効率よくエネルギー資源を運用するための新技術・新商品を経営に取り入れられないか検証していく姿勢をとっていきたいと思います。

私たちは、これまで以上に環境に配慮した経営を推進し地域社会に貢献すべく、今後も以下の取り組みを続けてまいります。

環境に配慮した経営の継続：私たちは、環境への配慮を経営の中心に据え、地球温暖化や自然環境の保護に積極的に貢献することを目指します。長く大事に車輛の使用を続ける手法から転換し、車輛の入替えを定期的に計画し、省エネルギー対策の取られたエコカーの導入など、環境に優しい施策を進めることで、持続可能な社会の構築を目指します。

コア事業の強化による福岡市への貢献：私たちの漏水調査部門は、水道事業の円滑な運営に向けて重要な役割を果たしています。漏水箇所を見つけ、早急な対応を行うことで、貴重な水資源のロスを防ぎ、地域の水道インフラの健全な運営に貢献していきます。

人工衛星からの漏水調査「アステラ」：私たちは最新の技術を活用し、人工衛星からの漏水調査システム「アステラ」を導入しています。アステラにより、広範囲で効率的な漏水の検知が可能となり、迅速な対応ができるようになりました。この技術の進化を継続することで、より多くの地域で早期の漏水対策を実現し、水資源の有効活用に寄与していきます。

環境に配慮した技術「アイスピグ」の導入：私たちは環境負荷を低減する洗管技術「アイスピグ」を導入しています。シャーベット状の氷を用いて管路クリーニングを行うこの技術は、管路の延命と環境保護に有益です。アイスピグによる定期的なメンテナンスは、環境に優しく、持続可能な社会の実現に向け有用な技術であると確信しております。

Well-being向上とSDG s 達成への取り組み：私たちは、会社全体で従業員のWell-beingを重視し、働く人々の健康と幸福を向上させることを目指し、2022年度に福岡市の「Well-being向上と環境保護を重視した事業者」へ登録いたしました。

私たちはこれらの取り組みをさらに強化し、地域社会の持続的な発展に貢献し、より多くの人々に信頼される存在となることを目指します。

2023年4月1日

株式会社トキワ設備 代表取締役社長 川浪弘之